



2018-2019年度 主題

国際会長 : Sangbong Moon "Yes, We Can Change"
 「私たちは変えられる」
 アジア太平洋地域会長 : "Courage to Challenges"
 田中 博之 「挑戦への勇氣」
 東日本区理事 : 宮内 友弥 「為せば、成る」
 湘南・沖縄部長 : 佐藤 節子 "No challenge, No fruit."
 「心を元気に 絆を深め合える
 ワイズを目指そう！」
 クラブ会長 : 岡田 勝美 「楽しく活動し、仲間を増やしていこう！」



今月の聖句

兄弟が自分に反感を持っているのをそこで思い出したなら、その供え物を祭壇の前におき、先ず行って兄弟と仲直りし、それから帰ってきて、供え物をささげなさい。

マタイ 5・23-24
 (信徒の友、「みことばにきく」より)

2018年8月本例会

- ◆日時 : 8月24日 17:00~
- ◆場所 : 田園都筑教会

※本例会の後、You&コンサート運営委員会ならびにクラブの納涼懇親会が計画されています。

1) クラブ本例会

時間 : 17:00~18:00

- ◇司会 今城 T、受付 今城 H
- ◇開会点鐘
- ◇ワイズソング。ワイズの信条
- ◇各種報告
- ◇行事予定・日程確認
- ◇Happy Birthday
 8/24 : 久保勝昭さん
 8/30 : 辻 剛さん
- ◇閉会点鐘

2) You & I コンサート運営委員会

時間 : 18:00~18:30

クラブ出席者
 岡田会長、今城 T、横田

3) クラブ納涼懇親会

時間 : 18:30~20:30

※コンサート運営委員会のメンバーにもご参加いただけます。



《巻頭メッセージ》 私の防災履歴 久保勝昭



2004~05年、私は東日本区・湘南沖縄部の部長に就いていました。その当時、役員研修会と称し、神戸Yより横浜Yに移動されていた、大江浩さんに1995年に起こった阪神・淡路大震災について卓話をして頂きました。神戸YMCAを基点にスタッフ、ボランティアが実に見事な働きをした事を熱く語ってくれました。しかし我々の想像を絶する光景を思い出され、涙ながらの語り口に、つい貰い泣きをしてしまいました。

2005年、我が町会に自主防災委員会が立ち上がりました。08年に私は防災委員長に就く(2年間のみ)と同時に08年7月27日(日)日産ウエルフェア横浜で災害ボランティアシンポジウムを開催し、講師に横浜市危機管理監兼安全管理局長 上原美都男氏に「横浜市の防災システムの現状と課題」の演目で講演を頂きました。我が町会は90年代頃から一戸建ての家の減少にともないマンションの増加が顕著になり今現在、世帯数が約1,850、人口も約4,600人程になるが、その90%をマンションで占めている。この事からこの時の議題はマンション住民のコミュニケーションを高め防災意識を向上させる議論を展開いたしました。

◎その時ボランティアはどう動くのか

*ライフラインが止まった時には、マンション全体がその機能を失う事を認識し共同体意識を高める。

*エレベーター停止を想定し、マンションに特化した訓練を実施して体験する。

以上、他にも多くの問題点はあるが、上記のような事柄について、解決策を模索し日々活動している。

2011年2月11日(建国記念日) 湘南とつかYMCAホールにおいて、「**支えあう社会とYMCA災害支援とYMCAの働き**」をテーマに会員研修会を実施いたしました。

そしてこの講演を日本キリスト教海外医療協力協会総主事の大江浩氏に再度お願いしました。その中で忘れることの出来ない一言があったので載せておきます。

「阪神大震災直後、生き埋めとなった約3,500のうちプロフェッショナル(消防など危機介入従事者)が救助したのは2割、8割の2,700名は「隣人」・隣近所の人々に命を救われたのでした。「災害」という非常事態よりも、いかに普段からのコミュニケーションのつながり、人と人との関わりが大切かという証です。人と人とのつながりは、命を守り、明日へと続く営みといえます。人と人とをつなぐのは「聴く力」、「寄り添う力」です。「泣く者と共に泣き」「喜ぶ者と共に喜び」それは私たちの人間関係の原点であり生きる意味にもつながります。

(3頁中段に続く)

《7月本例会報告》

兼：2018-2019年度第1回クラブ総会・クラブ新役員就任式・クラブ入会式・湘南・沖縄部長公式訪問

日時：2018年7月27日（金）18:30～20:15

会場：かけはし都筑

司会：横田孝久 受付：岡田美和

出席者：今城T・H、岡崎、岡田K・M、久保、
胡麻尻、杉本、鈴木K・S、辻Ts、福島
横田 各ワイズ（13名）

（ビジター）佐藤節子部長、堀田哲郎書記
伊藤誠彦会計

（ゲスト）高松満至

（合計出席者：17名）

0) 開会

●岡田勝美新会長の点鐘で開会、引き続き、ワイズソング、ワイズの信条を唱和

●鈴木Sが、今月の聖句（ルカ2・51）朗読と開会祈祷をおこなったのち、司会者がビジター、ゲストの紹介を行った。



1) 会長引継ぎ式

佐藤節子部長立会いの下、今城宏子前会長が岡田勝美新会長に会長バッジを装着して会長引き継が行われた。

岡田K新会長が挨拶に立ち、今期の活動計画を披露して、YMCAのモットー「見つかる。つながる。よくなっていく。」を基に、楽しく活動し、仲間を増やしていくことをテーマとしたいと述べた。また、他クラブの活動やYMCAの活動への参加を盛んにしたいとの表明があった。

2) 2018-2019年度第一回クラブ総会報告

岡田新会長を議長に選出して総会を行った。定足数が確認され、総会成立が宣言されたのち、提案された①～⑤の議案に沿って審議が行われた。前期事業報告、前期会計報告、今期活動方針、今期行事計画、今期予算案について各担当役員の説明があり、審議の結果、すべての議案について満場一致で承認した。

3) 部長挨拶

恒例の部長公式訪問のため参加された佐藤節子湘南・

沖縄部長をよりご挨拶をいただく。その中で、特に、来る9月15日に開催される「湘南・沖縄部大会」（於：レンブラントホテル厚木）への強い参加要請があった。また、同行された、堀田書記、伊藤会計からもご挨拶をいただいた。

4) 入会式

佐藤部長立会いのもと、杉本千津子さんの入会式が行われた。



東日本区宮内友弥理事よりの祝電が披露され入会式に花を添えた。

5) Happy Birthday

岡田美和（7/11）、杉本千津子（7/12）
三木直子（7/22）今城高之（7/31）

6) 各種アピール

◇災ボラ担当横田ワイズより、災害ボランティア・ネットワークについてのアピール。詳細は7月号プリテン参照）

◇東日本被災地支援の山元町訪問（辻Ts）は11/15（木）の予定。参加の要請があった。

◇You&コンサートのチラシと広報（今城T）についての協力要請。

◇8/6（月）移動例会の下見に行く（横田）

◇西日本豪雨支援をクラブとして行いたい旨のアピール（辻Ts）があり承認された。金額は会長と会計が協議して決めること了承。

7) 閉会点鐘

岡田会長による閉会点鐘により閉会。閉会后、部役員、ゲストを交え“ガブリエル”にて楽しい会食懇親会となりました。

（岡田美和 記）



7月27日クラブ本例会で久方ぶりの入会式挙行！

新入会の杉本千津子さんより入会のメッセージが寄せられました。



(入会式でいただいた名札とバッジ)

この度、つづきワイズに、おそらく最高齢で入会させていただいた杉本千津子です。いわゆる奉仕活動は、六〇年余り前の大学生の時、神戸クリスチャンワークキャンプに三・四年間参加して以来です。まだ、戦後の焼け跡の名残がここに残っていて、人手も資金もない、孤児院や学校や教会に春・夏出かけてゆき、泊まり込んで労働作業をする教会青年の集まりでした。そこで、それまでの長い間、学校でも教会でも目にしてきた奉仕活動から距離を置き自分は何をしていたのだろう、なんて自分本位の生活をしていたのかと気づかされました。神様のみがご存知の私の残された年月、ほんのわずかでもお役に立ったらと願います。それに加えて、まったくこの世的な望みとして、少しでも弟夫婦の傍で過ごしたいと願っています。夜遅くまでの参加は無理ですが、どうかよろしくお願ひします。

※田園江田教会所属

(1頁巻頭メッセージ続き)

◎阪神・淡路大震災の現場から私たちが直面した諸課題・検証

◎その時から新しい生き方が始まった

等大切な事柄に真剣に取り組み、大きな財産を得る事が出来た。

しかし、まさに、まさに、この一ヶ月後の**3月11日**に東日本大震災が発生した。

また、**2016年4月**には熊本県に震度7を観測する地震が発生し多大な被害をもたらした。

被害が酷かった益城町には熊本YMCAがあり被害も受けたが、復興に向け全国からの応援と、熊本Yのスタッフの頑

張りもあり町から大変喜ばれたそうです。

明日は我が身かも知れない。08年に開催したシンポジウムで、管理監が開口一番「関東に震度7クラスの地震が発生し火災が多くの場所で起きた場合、神奈川県には消防自動車は7台しかない、発生の際にもよるが全地域を守るのは至難の業である」と言われた。

火災、倒壊にかかわらず危険箇所を予めチェックし何時起きるか分からない大地震に備えたいものである。尚、津波の問題は市とマンションとの契約によりほぼ解決した。

(完)

部エクステンション委員会報告

辻 剛 記

2018-19年度第1回部エクステンション委員会を7月30日(月)に開催したのでご報告いたします。

佐藤節子委員長が湘南・沖縄部部長に就任されたため、不肖私が後任を仰せつかりました。これまでの委員の皆さんに加え、浦出昭吉ワイズ(とつか)、小松仲史ワイズ(厚木)、今城高之ワイズ(つづき)に委員として、更に加藤利榮ワイズにはオブザーバーとして、それぞれ新たに加わっていただくことになりました。

また、今回は沖縄那覇クラブの屋良政宜ワイズも出席されました。

今年度のスタートに当たって以下の決意を全員で確認しました。

・「入りたくなるワイズ」、「支えたくなるY M C A」(光永・区担当主事)を目指して頑張りましょう！

・「為せば成る」(宮内理事)という強い気持ちをもって、なんとか一個、新しいクラブを作りましょう！

・そのためには「ACTION！」(田中アジア・太平洋地域会長)あるのみです！

次回の委員会は、10月1日(月)18:30です。

(かけはし都筑)

ボランティア交流会のお知らせ 都筑区社協担当 岡崎さよ子

テーマ “ボランティアを増やそう！続けよう！”
(平成30年度第1回 ボランティア、市民活動等交流会)

日時 平成30年9月18日 9:30～12:00

開場 かけはし都筑 1階 多目的研修室

内容 ①講義「改めて考える、人生100年時代の居場所としてのボランティア」
(講師：(公財)ダイヤ高齢社会研究財団 澤岡詩野氏)
②団体間の交流、意見交換 他

定員 80名 1グループ2名程度まで

出欠 ご希望の方は岡崎までご一報をお願いいたします。

締切 平成30年9月6日



8月横浜北YMCAだより

横浜北YMCA館長 山中奈子(つづきクラブ)

今年もYMCAのキャンプが8月後半まで富士山や道志、三浦や伊豆などを舞台に実施されています。1920年、六甲山麓で最初のキャンプが行われました。大阪YMCAが少年たちのために試みた、松林の中での2週間の簡易天幕生活キャンプで、これが日本における最初のキャンプとなります。今でも多くの子どもたち、ボランティアのリーダーたちが一緒になってキャンプを創っています。キャンプの内容は、時代とともに変化し、姿を変えてきていることも事実ですが、キャンプに集う子どもたちの笑顔と歌声は変わらないのかもしれない。



私も7月後半から8月初めの3泊4日、富士山で行われたキャンプに駐在として行ってきました。100名を超える参加者、リーダーたちとのキャンプ生活では、自然を相手に仲間とともに生活し、楽しむなど、貴重な体験の機会であったと感じています。
キャンプでの様々な体験こそが豊かな学びの時間であるとも



考えています。そこには、グループの仲間がいて、互いに刺激をし合っていく中からの気づきなど、人や言葉、

様々な自然との出会いが成長の機会を与えてくれているのだと感じています。生きるちからを育む、そんな機会となることを期待している夏でもあります。



第31回ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム (YVLF)開催のご案内

ワイズ東日本区のスポンサーシップにより開催されるリーダーズ・フォーラムは、回を重ねて本年は第31回目が来る9月7日(金)より3日間、東京YMCA山中湖センターにて開催されます。我が国における最初のキャンプから今年で98年を数えようとしていますが、ワイズの皆様もこのフォーラムに参加し、若者たちが、自然の中でどのように学び、考え、行動する

か、目の当たりに体験してみませんか。

今年のフォーラムは、7日(金)の17:00に開会式、9日(日)の14:00に解散しますが、部分参加も可能です。

ご関心の向きは、東日本区webサイトの以下URLにアクセス (<https://ys-east.jimdo.com/ユース/>) するか、永津 徹ワイズ(東京サンライズクラブ/090-8056-7640)あるいは当クラブ今城高之(090-2669-3092)までお問い合わせください。締め切りは8月24日(金)です。

2018-19年度湘南・沖縄部第1回評議会 報告 岡田勝美 会長

日時： 7月14日（土） 14:00～16:00
 場所：横浜中央Y M C A 6 0 6号室
 出席義務者：部役員、クラブ役員
 司会：堀田部書記

- ◆ 佐藤部長の開会点鐘のあと青木一弘担当主事により、ワイズソング・ワイズの信条聖書朗読・祈祷がありました。
- ◆ 議案並びに提案者は下記の通り、全て満場一致で承認されました。
 なお、当日の出席者総勢24名で、評議会の定足数を満たしたので会議は成立。

- 第1号議案 2017～2018年度事業報告 (金子直前部長)
- 第2号議案 2017～2018年度収支決算報告及び監査報告 (伊藤会計)
- 第3号議案 2018～2019年度事業計画に関する件 (佐藤部長)
- 第4号議案 2018～2019年度予算 (伊藤会計)
- 第5号議案 エクステンション委員会に関する件 (佐藤部長)
- 第6号議案 2019～2020年度運営検討委員会に関する件 (金子直前部長)
- 第7号議案 次年度次期部長選考委員会に関する件 (佐藤部長)

◆ 出席者24名の内、つづきクラブからは岡田 K・M、今城 T・H、鈴木 K・S、辻Tsuの計7名が出席。

- ◆ 各議案は資料が配られ審議がありました。
 - ①伊藤会計より各クラブよりの入金・区献金状況が資料で配られました。区の方針通り献金しているのは横浜クラブと横浜つづきクラブくらいでした。
 - ②佐藤部長かより事業計画が発表されました。特に9/15（土）の厚木にて開催される部大会は、佐治晴夫理学博士による「宇宙に学ぶ人生の歩き方」が素晴らしいとP Rに熱が入っていました。登録受付期限は8/31（金）でクラブ単位をお願いされています。

- ③第6号議案 2019～2020年度運営検討委員会では、次期の沖縄クラブの森田幸二郎ワイズが部長に就任する際に想定される諸問題を検討する委員会で、つづきクラブからは岡田 K が出席の予定。
- ④堀田部書記より「湘南・沖縄部ホームページ開設（1年限定）」について話がありました。P Rではつづきクラブ「第8回You&Iコンサート 9/29」のチラシを配って宣伝しました。
- ◆ 部長の点鐘で閉会し、最寄りの「唐家村」（中華）にて懇親会をもちました。その笑顔の様子は古賀横浜クラブワイズが早速スライドショーで皆に送ってくれました。
 (完)



ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区

湘南・沖縄部 部大会

プログラム

受付:	13:30
第一部 式典	14:00 ~ 14:30
第二部 講演	14:40 ~ 15:50 佐治晴夫理学博士
第三部 懇親会	16:00 ~ 18:00

宇宙に学ぶ人生の歩き方
 —宇宙研究最前線から人間存在の意味を考える—

プロフィール:
 佐治 晴夫 (さじ・はるお)
 1935年東京生まれ。理学博士(理論物理学)。東京大学物性研究所、松下電器東京研究所、ウィーン大学などを経て、玉川大学、県立宮城大学教授、鈴鹿短期大学学長、学校法人享栄学園理事長などを歴任。(現在、上記名誉職)。量子論的無からの宇宙創生に関わる「ゆらぎ」の理論研究や、1977年にNASAが打ち上げた探査機ボイジャーに、地球人類のタイムカプセルとしてバッハの音楽を搭載することの提案などで知られる。また、科学と芸術との学際的新分野、数理芸術学を提唱、宇宙研究の成果を基にした宗教、芸術などとの対話が平和教育のひとつの架け橋になるという見解のもと、これまでに全国の小中高校：およそ700校で特別授業行脚を行っている。キリスト教、仏教との共通項を数学的見地から読み解く「グライ・ラマ法王14世との公開対話は話題になった。現在、大阪音楽大学客員教授、北海道・美宙(MISORA)天文台台長。日本文藝家協会所属。

日時：2018年9月15日(土) 14時～
 場所：レンブラントホテル厚木 相模の間

申し込みは申込用紙にてクラブ単位に8月31日までにお願いいたします。講演のみの受講者も受け付けますが定員100名とします。会費は講演のみ2,000円、懇親会まで参加の場合は6,000円。申込み用紙は部書記 堀田 または部 Hp より入手可能です。当日は名札ケースをご持参ください。 <https://shonsnokinawa.iimdfree.com/部大会/>



TKB***便**い (Tsuzuki Kawaii Bachans)

今城宏子 記

TKB「お誕生日カード作り」

東日本大震災後、宮城県亘理郡山元町の「みやま荘」と「つばめの杜保育所」に林 理子さん作成のお誕生日カードをお送りしていましたが、TKB発足以来、皆で作業をし、2016年4月からは南相馬市の「原町聖愛こども園」にもお送りするようになりました。休会中ではありますが林茂博さん、理子さんに引き続き印刷や折り紙の指導を頂いています。

月一回の作成日には老眼鏡をかねおし、気合を入れて作業に望み

ます。理子さん指導の下、「難しい！」「なんて上手！」「可愛い！」など乙女（！？）の会話が炸裂する中での作業は、まさにコグニサイズ！場所を提供して下さる岡崎さんの特製スープに元気を頂き、おなじみになった子ども達の名前を見ては「どんなお子さんかナー」「あ〜、もう一年たったんだ！」と想像するのも楽しく頑張っています。

この度、林 理子さんが手術を受けられることになりました。

長年、痛みを我慢してこられたのです



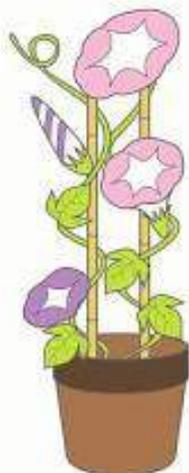
が病状が悪く大手術を受けられる決心をされました。8月20日に1回目、続いて2回目を受けられます。どうぞ無事に手術が成功し順調に回復されますよう、お祈り下さい。

(完)



《7月のデータ》

例会出席	19名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	累計
メンバー	13名	月間出席数	15名	使用済切手	0g	0g
ビジター	3名	メーキャップ	2名	プルタブ	0kg	0kg
ゲスト	1名	月間出席率	88%	スマイル	0円	0円



▼今月は平和を祈る機会の多い月ですが、我々の国は、世界は本当に平和を求めているのか疑いたくなるような出来事が続きます。為政者がメンツや建前を捨て、一番弱い人々のことに思いを巡らせてくれるよう祈ります ▼ワイズが新年度を迎えて一月が過ぎました。我々のクラブでは新入会者を迎え上々の滑り出し、この勢いが続きますよう ▼1994年に第一回が開催されたAIDS文化フォーラム横浜も今回で25回を迎え、8月3日から3日間開催されました。初日しか出席できなかった編集者ですが、立ち見も出るほどの若い人たちの数に驚かされました。意義深いこのイベントが定着してきたことはうれしい限りです。 ▼本誌4頁にも書かれていた通り、9月7日から3日間、山中湖の東京YMCAキャンプ場でユース・ボランテイア・リーダーズ・フォーラムが開催されます。若いリーダーたちの研鑽の場であると同時に、若者と社会人の交流の場でもあります。ユース支援を標榜するワイズ達も、現代の若者気質に触れる絶好のチャンスです。奮ってご参加ください。 ▼何しろ異常な今年の酷暑、高齢者の多い我らワイズは心して健康に留意しましょう。無理をせ

(編集子)

・・・編集後記・・・